

おいかわ つよし

19. 及川 剛志さん

就業のきっかけ

平成11年(1999年)伊達市生まれの25歳。
令和4年3月札幌市内の大学を卒業後、室蘭市保健所で1年間会計年度職員として勤務していました。

大学在学中から続いていたコロナ禍のなんともいえない閉塞感から、デスクワークより自然との関わりがある仕事をしたいと考えるようになり、就職先をハローワークで探していたところ、森林組合の求人票が目にとまり、即応募しました。

そして無事に採用され、令和5年4月から業務課森林整備係で働いています。



【木の成育調査(木の太さ)】

仕事のやりがい

1人でできるのかなあ・・・と思いながら始める造林地の測量を終わった後の「やったぞ！」と心の中で叫ぶ達成感と苗木は植えてもすぐに大きくなるわけではないですが、毎年少しずつ大きく成長する姿を見るととてもうれしく思います。

苦労して歩いて山(現場)に入って仕事をしている時に、ここでしか見ることのできない美しい・雄大な景色を見たときは感動します。

仕事の大変なところ

1人で現場に行く事も多くなり、笹をかき分けながら、ダニやハチ、時にはクマがいるのでは・・・と恐怖を感じながら山に入るときもあります(汗)

安定しない狭く舗装されていない山道を運転するのは難しく、怖い時もありますが、経験を積めば運転がかなり上手になると思います。



胆振西部森林組合
森林整備事業

〒052-0025
伊達市網代町10-3

年齢 25歳
勤続年数 2年

仕事内容

林業の仕事を全く知らずに森林組合に就職したので、木の名前や林業用語を覚えるところから苦労しました。

入って2年が経ちますが、まだまだわからないことが多く先輩に教わりながらも、少しずつ現場担当を任されて、責任感ややりがいを感じます。

事業予定地の測量や林分の資源把握調査、造林事業補助申請事務など森林整備全般を行っています。

デスクワークも現場業務もありメリハリのある仕事だと思います。



【造林竣工検査対応中】

胆振の魅力

大学4年間札幌に住みましたが、地元に戻ってきて、海の香りを感じ、あらためて良さを感じました。

札幌や千歳などへのアクセスも良く、観光地や海も近く、冬は雪が少なく温暖で、地元の食材も豊富でとても住みやすいところです。

林業に興味を持っている方へメッセージ

パソコン・スマホ等のデジタル中心の現代社会では、自然の中に入る機会はほぼないと思います。自然の中を歩き、汗をかき、体を動かすことにより、筋肉がつくのはもちろん、体も心も元気になります。

心明るくしたい人、自然が好き人は、「林業」にチャレンジしてみてもいいかと思います。